

「健街道」矢倉沢往還道 第4回 ご案内 矢倉沢地蔵堂(新松田駅)～足柄駅

歩行距離 約8Km

(実施年月日) 2019年 9月28日(土曜日)	(参加人員予定数) 参加人員 30名 スタッフ 7名	(参加費) 1名 / 1,000円 資料代・保険代・他	(運営スタッフ) 富岡秀二・目島公男・二瓶弘・二瓶雅代 小杉正雄・小杉眞希子・川合脩司
--------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	---

集合場所 小田急線・新松田駅改札口にお越しください。

スタート時間 AM9時45分 (受付は9時30分)

(行程内容)

9:30～ 9:45	新松田駅改札口を出たところで受付開始	トイレ
10:05～10:45	地蔵堂行のバス乗車して地蔵堂で下車	
11:00～11:30	金太郎の生家跡・金太郎の遊び石を經由して地蔵堂駐車場公園で昼食	トイレ
12:30～13:20	足柄古道を通り見晴台バス停で休憩	
13:30～14:00	石畳道を通り金太郎の金ぶた石・源頼光腰掛石經由足柄峠へ	トイレ
14:15～14:20	首供養塚・足柄の関跡・足柄峠の一里塚跡碑・金太郎の像	
14:30～14:40	新羅三郎義光吹笙の石・足柄城址	
14:45～15:15	足柄古道の赤坂古道を下りる	
15:25～16:10	嶽之下宮を經由しJR御殿場線・足柄駅到着、駅前解散	トイレ
16:29発	国府津行に乗り松田駅及び国府津駅へ	

※前回の終着点「矢倉沢」バス停から地蔵堂までの矢倉沢往還は現在県道の新設工事で通行止めです。その為、新松田駅から地蔵堂までを路線バスで迂回する処置をとりました、ご理解をお願い致します。

見どころ聞きどころ

金太郎の生家 : 昔、地蔵堂には都から移り住んだ四万長者がおり、名を足柄兵太夫と言いました。兵太夫には八重桐と言う娘がいて、酒田氏に嫁りましたが酒田一族で争いが有りそこから逃れるために地蔵堂の実家に戻ってきました。身ごもっていた八重樫は地蔵堂の屋敷で無事に男の子を出産、金太郎が誕生しました。

地蔵堂 : 現在はお堂だけですが、かつては当地には誓広寺という寺院があり、その地蔵堂だけが残ったと伝わります。

足柄峠 : 交通の要衝であるため、899年に関所が、戦国時代には足柄城が築かれた。1336年(和暦では建武2年、(1335)には箱根・竹之下の戦いが行われ足柄峠に陣取った足利尊氏の軍勢が新田義貞の分隊を指揮して脇屋義助を峠下の竹之下で破った。

新羅三郎義光吹笙の石 : 後三年の役で兄・義家の救援に赴く際、義光は戦死を覚悟で父より授かった秘曲を相伝すべく、この石に座り豊原時秋に笙の奥義を伝えたと言う。

足柄城址 : 足柄城は大森氏により築かれたとみられ、その後天文5年(1536年)頃に北条氏綱により改修されたと見られるが正確な所は分かっていない。天文4年(1555)に北条氏康が城の改修を行ったとされる。これは三田郷(厚木市)の百姓に人足を出させた記録からわかっている。

赤坂古道 : 赤坂の名は昔このあたりから須恵器(茶碗や壺)を造るのに 使う赤土が取れたのでこのように名づけられたと云う事です。

足柄駅 : 明治36年足柄信号所として開設され、昭和22年に足柄駅に昇格した経歴を持つ。開設当時の御殿場線は東海道線の一部でしたが、丹那トンネルが開通したため御殿場を通るルートは御殿場線として分離された。信号所の在った足柄地区の住民により駅の新設運動が開始され、信号所は駅に変更された。

(中止の場合)

前日 の夕刻 に参加者に電話連絡する
中止の振替日は10月26日(土)です

(服装・履物・持参品)

ハイキングの服装(雨天時の傘・レインコート)・歩きやすい靴
健康保険証 ・名札(緊急連絡先付)・お弁当・飲み物(お茶やコーヒー等のカフェイン含有飲料は避ける事)
※カフェインは利尿作用が有りトイレが近くなります(矢倉沢往還はトイレ箇所が少ないので協力をお願いします)

(行程上のお願いと注意点)

- ★ 新松田駅集合場所で参加費のお支払いをお願い致します。
- ★ 飲料水は多めに持って、のどが渇く前に定期的にとって下さい。
- ★ 道幅が狭い処では、車両の通行で危険です、スタッフの指示に必ず従って下さい。
又特に今回はトイレ箇所が少ないため指定された処で必ずお済ませ下さい。
- ★ 今行程の昼食場所は、地蔵堂駐車場公園でお弁当を食べて頂きます、ベンチに限りがあるためシート等の敷物をご用意ください。(万葉うどんのご利用も出来ます)

お問い合わせ連絡先 富岡 秀二

e-mail : hideteru71166@yahoo.co.jp
TEL/FAX : 045-904-0230
携 帯 : 090-9300-3562